

ホームページへの掲載	
2月14日	掲載

岐阜県立飛騨高山高等学校

学 校 長 河 渡 正 史

学 校 住 所 (岡本キャンパス) 高山市下岡本町2000-30 電話 0577-32-5320

(山田キャンパス) 高山市山田町711 電話 0577-33-1060

-
- | | | |
|---|-------|--|
| 1 | 会議の名称 | 令和元年度 岐阜県立飛騨高山高等学校 学校評議員の会議 (第2回) |
| 2 | 会議の構成 | 委 員 杉山 和宏 (株)高山電材 代表取締役
坂下 桂子 アトリエ リーベル (美容師)
辻 直司 岐阜県肉用牛協会 会長
垣根 真吾 岐阜県指導農業士
中川 久恵 自営 (靴販売業)
学校関係者評価委員
桑谷 康弘 全日制 育友会長
岩佐喜美子 定時制 育友会長
奥田 和久 通信制 学校関係者評価委員
学校側 河渡 正史 校長
田屋 雅樹 副校長 (全日制山田キャンパス)
武田 理 副校長 (定時制・通信制)
野村 宏治 事務部長
大森 賢一 教頭 (全日制岡本キャンパス)
桐山 明宏 教頭 (全日制岡本キャンパス)
水野 泰孝 教頭 (全日制山田キャンパス)
奥田 寛 教頭 (定時制)
中田 和美 教頭 (通信制)
塚本 和幸 教諭 (全日制岡本キャンパス・教務主任)
富田 喜友 教諭 (全日制山田キャンパス・教務主任)
近藤 哲也 教諭 (全日制岡本キャンパス・生徒指導主事)
柳原 博之 教諭 (全日制山田キャンパス・生徒指導主事)
荒川 一弘 教諭 (全日制岡本キャンパス・進路指導主事)
田中 一幸 教諭 (全日制山田キャンパス・進路指導主事)
島田 正幸 教諭 (全日制山田キャンパス・農場長) |
| 3 | 会議の目的 | 学校運営等について、地域住民や有識者から幅広く意見を聞き、地域社会からの支援・協力を得て、開かれた特色ある学校づくりを推進する。 |
| 4 | 会議の開催 | 令和2年1月24日 (金) 14:50~15:50
高山市民文化会館 会議室
学校評議員2名 (欠席3名)、学校評価委員2名 (欠席1名) と学校側16名が出席 |
| 5 | 会議の概要 | (進行 桐山教頭)
開会の言葉 (田屋副校長)
校長挨拶 (河渡校長)
学校説明 全般 (学校長)、全日制 岡本キャンパス (大森教頭)
全日制 山田キャンパス (水野教頭)、定時制 (奥田教頭)
通信制 (中田教頭)
学習成果発表会の感想及び学校への意見・要望等
閉会挨拶 (武田副校長) |

(1) 開会前 高山市民会館にて開催した学習成果発表会の参観

(2) 挨拶・学校説明

1 開会の言葉

日頃より本校の教育に多大なお力添えをいただき感謝申し上げます。本日は学校評議員の皆様、育友会関係の皆様には、大変お忙しい中ご出席いただきありがとうございます。本会議は、学校運営の改善・発展のために日頃感じられているご意見をいただく趣旨の会議で、特に本年度の取組と成果・課題についてご意見を頂戴する場となっております。忌憚のないご意見をお願いしたいと思います。それでは、只今より、「令和元年度第2回の学校評議員の会」兼「学校関係者評価委員会」を始めさせていただきます

2 校長挨拶

本日はお忙しい中、学校評議員会及び学校関係者評価委員会にご出席頂きまして、誠に有り難うございます。

先ほどまで、学習成果発表会を実施していましたが、岡本、山田両キャンパスの全日制の全校生徒が一堂に会して行う行事の一つで、7つの学科それぞれが、どんな勉強をしているのかを、仲間の言葉で聞き、本校の学びの質の高さを共有し財産とするという目的で実施しております。今年も生徒達は、それぞれの学科の取組について、また複数学科がコラボするなどの工夫をしながら、素晴らしい発表をしてくれました。

さて、今年度もまとめの時期になってまいりました。日本の各地で自然災害がありました。幸いにも、本校は穏やかな1年であり、生徒は、全体的に落ち着いた学校生活を送っていたと思います。施設・設備に関しても、岡本キャンパスの武道場の修理、山田キャンパスの実習室の整備など、ほぼ予定通り進みました。また、各教室の黒板がホワイトボードに替わり、さらに、ICT機器が導入され、授業形態も変わってきております。

本日は、各課程別に学校運営計画に基づいて、今年度の取組状況や成果、課題について説明させていただきます。その内容、もしくは、その他のことでも結構ですので、それぞれのお立場、見方で忌憚のないご意見、ご感想を頂きたいと思っております。

また、お手元の資料の後半に、「活躍する生徒たち」として、本校生徒の取組の一部を紹介させていただきました。今年度の240余りの記事の中からの選りすぐりです。ご覧いただき、このことに関しても、ご意見をいただけたらと思っております。それではよろしく願いいたします。

(3) 今年度の学校状況の説明

<全日制 岡本キャンパス> 大森教頭

学習指導では、今年度よりプロジェクターやタブレットが導入され、生徒に動画や画像を簡単に見せたり、パワーポイントを利用して授業を行うことが可能になりました。授業改善を図るなかで、「教科により習熟度別の授業や少人数授業などがあり、それが学習の理解につながっている」という項目において、94%の肯定的な意見を得ております。また、「話し合いやペアワーク等の授業が行われている。」や「家庭学習に取り組む時間」が課題となっていました。目標の数字を上回る伸びとなりました。

生徒指導については校則の見直しを図り、一部修正をしております。また、生徒会と協力して生徒の意見を聞きつつ、更なる見直しを図っていきたいと考えております。取組に対しての生徒の評価は、「他者への思いやり、感謝の気持ちを育てる教育ができています」が93%以上、「社会のルールにふさわしい服装、頭髪の指導を行っている」が97%と高評価を得ています。ボランティア活動をするMSリーダーズの登録者が216名で、掃除など自主的に活動してくれていま

す。就職については求人数が多く、ほとんどの生徒が第一志望の企業に合格しており、公務員に合格した生徒もいます。キャリア教育では1年生でインターンシップを実施しています。また、「ふるさと企業OB&生徒交流会」では、今年度より体育館にブースを設け、昨年の倍以上の企業に参加していただくなど、効果的に実施できました。本日ご覧いただきましたように、多くの学科が協力して取組、本日の学習成果発表会でもいくつかのコラボがありました。

岡本キャンパスについて簡単に触れます。

普通科では、家庭学習時間が昨年度より増え、より意欲的に学習に取り組んでいます。情報処理科では、情報処理技術者検定に3名が合格しました。昨年度から小学校を訪問しプログラミング学習の支援を行っています。また、学習成果発表会でもありましたが、クラウドファンディングにも挑戦しました。ビジネス科では昨年度に続き中学校に出向いて租税教室を行っています。商品開発では今年度開発した「飛騨ほりん」というほうれん草を用いた大福の販売に力を入れております。生活文化科では、自ら創造性を持って活動できる生徒が増えています。外部講師を招いての各国調理やファッション関係の講習会も積極的に行っており、毎年テーマを定めて研究を行い、発表につなげています。

<全日制 山田キャンパス> 水野教頭

本年度の山田キャンパスでは、「地域に貢献し、地域を担う人づくりをする」という学校の使命を果たすべく、特に地域に根差した課題解決学習に力を入れてきました。

その中でも生物生産科では、第3回全国和牛甲子園において3連覇は逃したものの、枝肉部門で優秀賞、取組部門で優良賞ということで、総合で実質2位の成績を獲得しました。また、園芸科学科においては、JAプロジェクト発表会にてグランプリを獲得しました。これらの取組が、高い志を持ち将来農業自営を目指す人材の育成につながっていることをうれしく思います。さらに、環境科学科では日頃の学習に加え、講師を招聘するなどして学んだ内容をもとに、花里小学校の児童を対象に防災演習（DIG演習）を行い、日頃の学習成果を積極的に地域に広めました。最後に、学校全体の取組として、これまで10年間にわたって本校で行ってきた伝統「雪またじ」を地域に広めようと、MSリーダーズが中心となり、北小学校の児童と共に実施していくことになりました。地域の温かな助け合いの文化を継承する取組にも着手したところです。

<定時制> 奥田教頭

今年度は、重点目標実現のために定めた具体的な取組や方策について、十分取り組むことができたと考えています。どの程度達成できたかについては、学習、生徒指導、進路の3つの分野について、お手元の資料のアンケート結果などを中心に見ていきたいと思っております。

学習指導に関して最も特徴的なことは、6月に実施した「保護者・生徒を対象としたアンケート」の結果からも明らかなように、平成29年度と比較すると、平成30年度、令和元年度の肯定的評価が、生徒・保護者ともに非常に高くなっている点となります。「生徒による授業評価アンケート」においても、授業に対する期待感や授業における集中度といった項目の肯定的評価において、同様の傾向が見られます。

生徒指導に関しては、「保護者・生徒を対象としたアンケート」や「学校生活アンケート」において、昨年のアンケート結果と比較してみても大きな相違は見られませんが、肯定的評価がほとんどの項目で85%を超えています。定時制全体の雰囲気も落ち着いてきており、生徒指導上の問題も減少傾向にあり、退学者も平成29年度以降減少しております。

進路指導に関しては、「保護者・生徒を対象としたアンケート」において、「保護者が必要とする進路情報を提供する場を設けている」という項目について、肯定的評価が昨年を大きく上回り、「各種講話・進路行事後のアンケート」においては、生徒による肯定的評価は90%を超えています。生徒が進路に向き合う意識は高まってきており、進路決定の時期も早くなってきています。

<通信制> 中田教頭

学習面については、概ね保護者や生徒からは高く評価していただいております。一人ひとりの生徒に配慮した指導が評価されたのかと嬉しく思います。通信制には様々な背景を持つ生徒が在籍しています。非常に学力が高い生徒もいますが、小学校の高学年から学習空白期間が続いている

生徒もいます。年々そうした生徒の割合が増えてきていますが、何とか通信制に踏みとどまって高校卒業まで頑張ろうとしている生徒の姿もあります。実は、今年度通信制在籍3年目にして、初めて日曜スクーリングに出席でき、体育や学校行事も仲間たちと一緒にできた生徒もいます。職員がさまざまな配慮や支援をした結果だと思いますが、その子なりの学びの時機があるのだな、とつくづく思います。保護者の方からもこの地域になくてはならない重要な存在として高く評価していただいています。今後もより一層個に応じた丁寧な支援をしていきます。

次に生徒指導面ですが、今年度は、今のところ大きな事故や事件はありません。いじめについても報告はありません。大変落ち着いた学習環境で学校生活がおこなわれています。ただ、教育相談的支援は全日制や定時制に比べると手厚い支援が必要で、スクールカウンセラーや子ども相談センターや子育て支援課などの外部機関と連携しながらおこなっています。今年度は、スクールカウンセラーとスクールソーシャルワーカーの方を講師として職員研修をそれぞれ1回ずつ実施し、職員自身の知識や技能を高める努力をしています。また、特別活動では、昨年度、卓球部が全国大会に出場しましたが、今年度は、バドミントン部がダブルスで東海大会に出場しました。嬉しい出来事でした。

最後に進路指導ですが、10年前でしたら社会人として何年も働いている方が多かったので進路指導を学校として組織的に取り組まなくてもよかったのですが、現在では在籍生徒の若年齢化が進み、保護者や生徒から進路指導に対する期待が高まっています。本校卒業後に在学中のアルバイト継続ではなく、正規雇用挑戦してほしいため、今年度は「就職の手引き」を作りました。それにより、卒業予定者11名のうち、2名が正規雇用していただけることになりました。進学については、推薦等で大学や専門学校、大学校に決まっている生徒が4名います。さまざまな進路希望を持つ生徒に対してより一層組織的に対応していきます。以上現状をお伝えしましたが、来年度も生徒の「自己肯定感」を高めることを第一にしながら「気長、丁寧、親切」をモットーに支援していきます。

(4) 学習成果発表会の感想 及び 学校への要望・意見等

〈ご意見1〉 学習成果発表会の見学はかなわなかったが、今の報告を聞いて1つの高校として幅広い形態を持ちながら、学内での生徒・保護者の評価が高いのが素晴らしいと思っている。私が経営する会社にも高卒の新入社員が毎年来ているが、自発的に動いたり積極的に取り組めたりするかどうかは、自信の有無に左右されている。自分のやっていることに對して肯定的な評価をしていることがすばらしい。

ロータリークラブで夏までインターアクト部の担当をしており、スカイパークへ上がる階段の整備を生徒とさせていただいた。女子生徒も多かったが、木材を運ぶなど肉体労働を積極的にやってもらった。また環境科学科の生徒さんには工具を準備していただき、予想以上にきれいに整備することができた。スキルの高さや一生懸命に働く素直さを感じた。

〈ご意見2〉 午後から発表会を見させていただいた。ファッションショーは、今の子どもは度胸があってアピールする力があると感じた。こうしたアピールする力は、将来を考えた時には非常に大切な力だと考えている。山田キャンパスでは、畜産関係の学習の成果が園芸関係の学習の成果より高く評価されている傾向があるように感じている。牛を取り上げたテレビ番組では、全ての生徒が元気に楽しんでる姿が放映されており嬉しかった。また、飛騨特別支援学校と交流しながら農福連帯をやってくれているのはいい光景だと思っている。トマトに関しても、生徒が岐阜県で最優秀賞を取ったのは光栄なことだと感じている。これから後継者を育てるためにも、生徒に農業をアピールしてもらいたいと思う。最後に、今日の発表会で山田と岡本の生徒が手をたたいたり笑い声をあげたりしていて、一体感を感じることができた。二つの校舎が一体化したすばらしい学校だと感じた。

- 〈ご意見3〉 子どもは定時制に属しているため夜暗い中登校しているが、本日の学校説明や学校評価の内容を聞いて、安心して学校に預けられるなど感じた。定時制の学生も年々増えている中で、卒業に向けて皆さんが頑張ってくれていることを大変うれしく感じている。先生方のご努力のおかげで、保護者としても、安心して学校に通わせられる環境を改めて感じる事ができた。本当にありがとうございます。
- 〈ご意見4〉 自分の子も中学校の時は不登校で勉強もできず、人付き合いも難しかったが、高校生になり通信制課程に通うことで落ち着いてきた。先ほどお通信の教頭先生のお話にありましたが、先生方には、気長に丁寧に親切にやっていただいている。学校に行けないこともあったが、子どもにあったゆっくりしたペースで指導していただいております。何年で卒業できるか分からないが、一人で生きていく力をつけてもらいたいと考えている。

(5) 閉会挨拶

本日はお忙しい中ご出席していただきありがとうございました。本校の取組の良い点については、さらなる発展に努めたいと考えております。学校評議員の杉山様には、3年間委員を務めていただきありがとうございました。他の委員の方々は、来年度引き続き委員を務めていただきますようお願いいたします。以上をもちまして「令和元年度第2回の学校評議員の会」兼「学校関係者評価委員会」を終了させていただきます。ありがとうございました。